

岩手県立高田高等学校 広報



第4号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造

五月十八日(火)、二三年生のTXA Action PROJECT

五月十八日(火)の午前中、TXA Action PROJECTの一環として、二学年では、普通科文系で主に就職や専門学校進学を目指すクラスの生徒と、海洋システム科の生徒が地域貢献活動を行いました。この時間帯に、同じく普通科の大学・短大・医療系専門学校への進学希望者は、高大連携地域探究の授業を行いました。また、二学年生徒は、東日本大震災津波伝承館を見学しました。

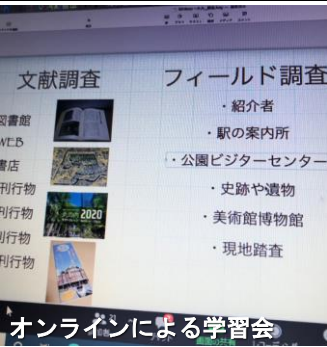
高田松原再生活動

二学年で行った地域貢献活動は、高田松原を会場に「NPO法人高田松原を守る会」主催で行われた、高田松原再生活動で、松苗の植樹を行いました。



植樹の様子

松が成木になるまでには五十年の年月が必要だそうです。参加した生徒は、再生した五十年後の高田松原の姿を思い描きながら、復興の願いを込めて植樹していました。



オンラインによる学習会



真剣に受講しています

今回の高大連携地域探究の授業は、立教大学との二回目の合同学習会でした。

高大連携地域探究合同学習会②



高田松原を守る会の方から説明を受けました



この見学は、進学や就職で地元を離れる前に、東日本大震災津波について体系的に学ぶために毎年三年生を対象に実施しているものでもあります。この見学を通じて、今後自分がどこにいても「津波被害から自分を守るようにしなければ」という思いを新たにしました。



あの日、どんな被害があったかを知りました

合同学習会では、今後行うフィールドワークの準備についても学びました。**東日本大震災津波伝承館「見学」**
三学年生徒は、東日本大震災津波伝承館を見学しました。この見学は、TXA Action PROJECTだけでなく、復興防災・減災教育の一環として行われたものです。



各クラスの様子が映写されています

五月十九日(水)、前期生徒総会が開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、各クラスと放送室をオンラインでつないでの実施となりました。オンラインでの実施でも、質問や意見は例年通り多く出されました。

前期生徒総会

なお、東日本大震災津波伝承館のお隣にある道の駅「高田松原」では、海洋システム科の生徒が作った缶詰が販売されています。



僕たちが製作した缶詰です



やはり広田湾は最高です

この日は、四月十三日、四月二十日に続き三回目の調査を行いました。この調査を通じて、広田湾という地元の海についての考えを深めることができました。



原プランの生物を採取

第三回広田湾調査
五月二十五日(火)の午前中、海洋システム科海洋科学コースの二学年の代表生徒が、調査を行いました。
この調査は、今年度から広田湾漁協様、陸前高田市様、岩手大学様と本校の、「産官学」が連携して行っているものです。